

## 時間データ(pattern.csv)の改行コード違いによるタイムローター停止復旧手順

タイムローターにCRLF以外の改行コードで製作されたpattern.csvを読み込ませた時、タイムローターが停止しmicroUSBを繋いでもPCが認識しなくなるとの報告を頂きました。その復旧手順をここで説明致します。尚、この方法はデバイスに強制的に読み込みエラーを発生させ内部データを書き換えるもので、緊急避難的な方法です。

**必要な物。通電可能なドライバー、またはドライバーとジャンパー線など。**

※作業時は濡れた手では行わないようにして下さい。

1. ケースを開けます。

電池を入れたまま、電源スイッチはOFFの状態で中心にあるネジを外します。

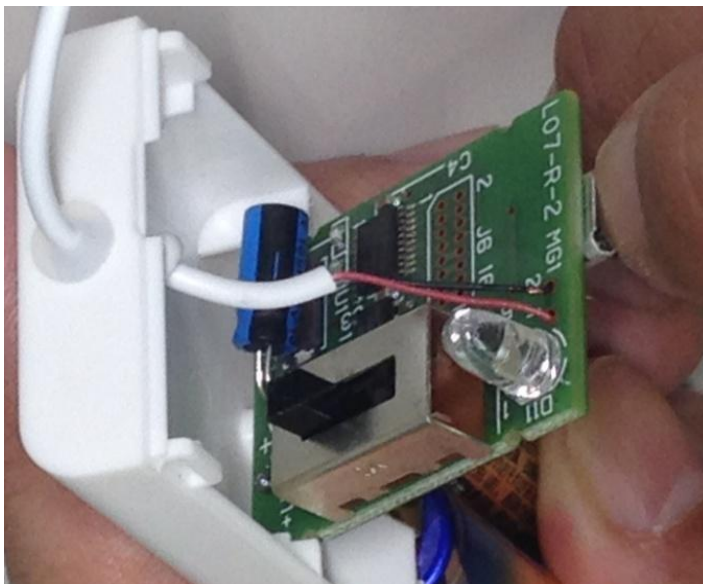


電池ケースの横部分を軽く外へ押し出すと外れやすいです。



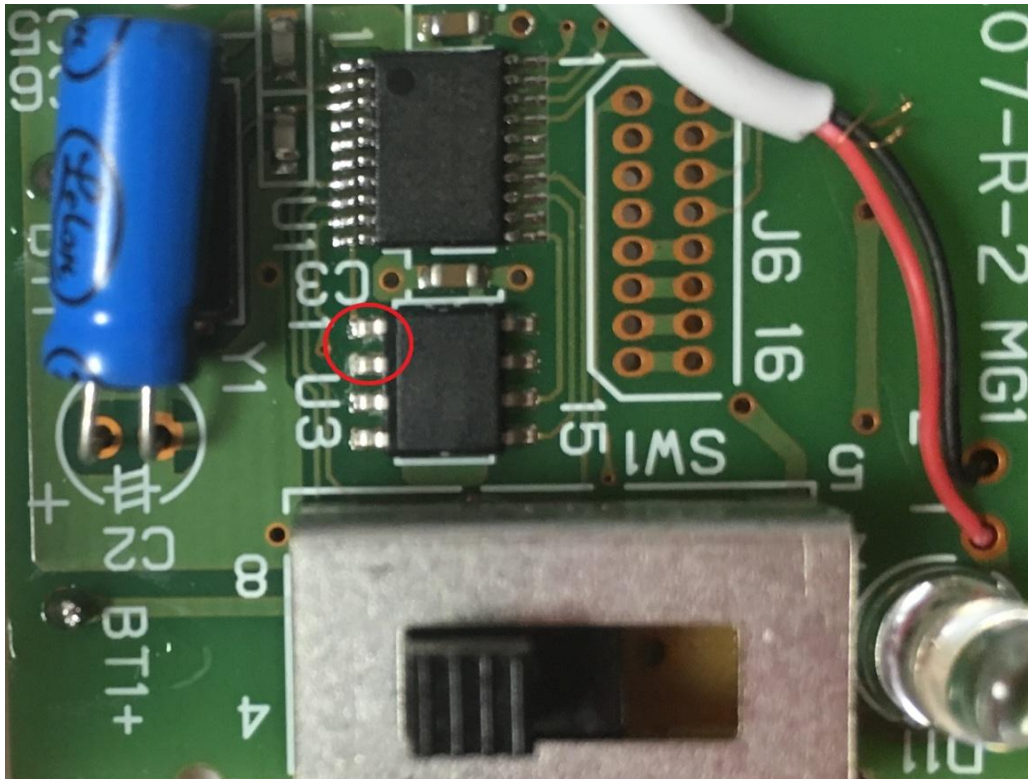
2. 内部の基盤を引き起こします。

この時、ローターのコードを外側から押し込むと線に余裕が出来て起き上がりやすくなります。



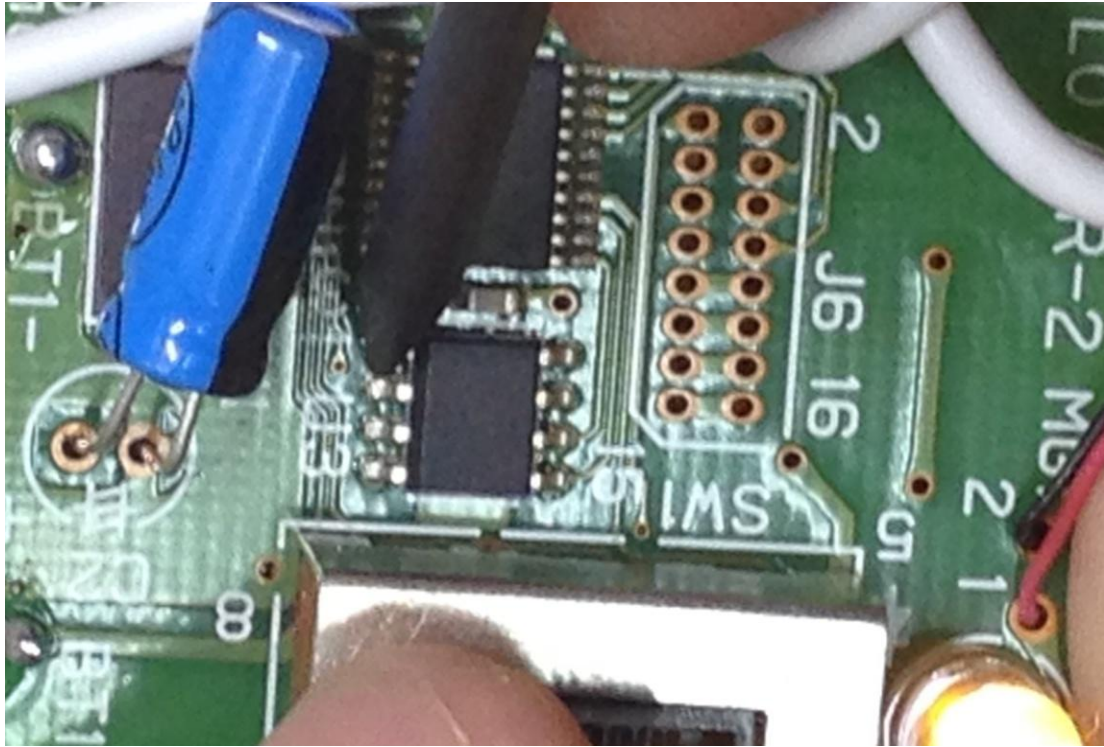
3. 基板の赤い丸の2つのピンを短絡(ショート)、導通させる。  
※短絡とは、2点間で電気が導通する状態です。

ドライバーの先、その他電気を通すものであれば針金などでも構いません。



4. 短絡させた状態でスイッチを中央にします。

LEDが点灯、ローターが動き始めれば成功です。その後、速やかに短絡を外します。



スイッチは中央でローターが動いたままの状態、microUSBでタイムローターとPCを繋ぎ、原因となったpattern.csvを削除する。

以上で完了です。

このような事を購入者の方にさせてしまい申し訳ございません。ご自身で復旧が難しいと感じた場合はお問い合わせよりご連絡をお願いします。